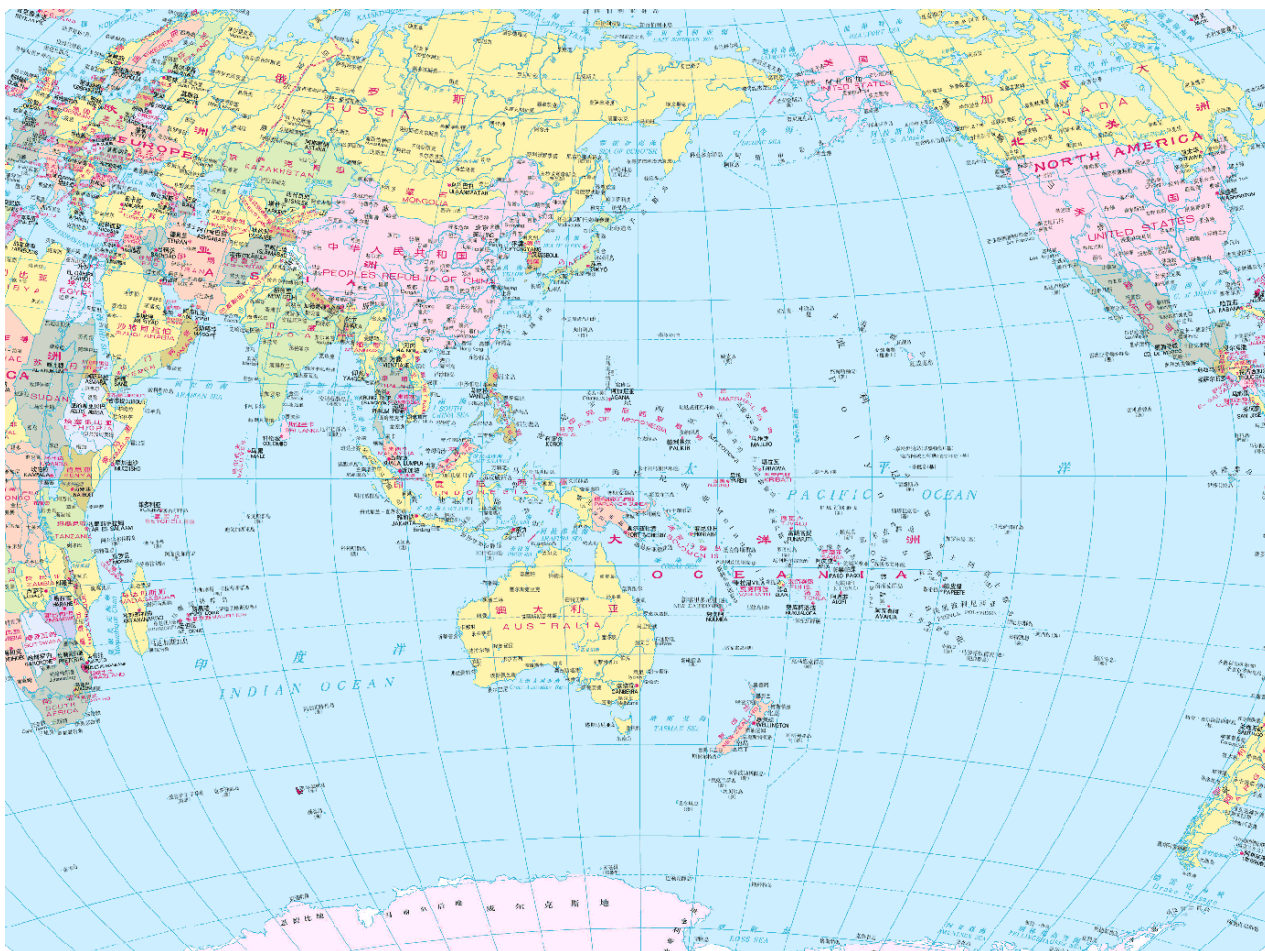


時事討論



世界情勢はいかに

・北朝鮮

米に対抗措置警告＝北朝鮮

朝鮮中央通信によると、北朝鮮外務省報道官は30日、談話を発表し、「米国が軍事的な冒険や超強硬制裁策動を続けるなら、断固たる正義の行動で応える」と述べ、対抗措置を警告した。

アメリカの今後の動きは？

- ・アメリカは政治的解決を一番に考え中国などに協力を仰いでいる。
- ・間違いなくアメリカが北朝鮮を攻撃すれば第三次世界大戦が起こる
- ・アメリカが軍事行動を本気で起こす石を見せる必要があるのではないか？

Molestie ornare
amet vel id, rem
volutpat platea.
Magnis vel, lacinia
nisl, vel nostra nunc
eleifend arcu leo.

・韓国

文政権の北朝鮮対話路線には既に限界が生じている？

韓国の文在寅（ムン・ジェイン）氏が大統領に就任してから約2ヵ月が経過した。同氏の北朝鮮に対する基本姿勢は対話を重視するとしている。しかし、北朝鮮にはまともな対話をする意思があるようには見えない。北朝鮮の金正恩は世界の非難を気にする様子もなく、核開発を進め、大陸間弾道弾（ICBM）の実験を行っている。文大統領は、こうした状況をいかにして打開しようと考えているのか、同氏の意図がよく分らない。

文政権THAADを増強、本格運用へ独自制裁も弾道ミサイル発射でも北を威嚇

韓国大統領府によれば、文氏は「北東アジアの安保構図に根本的な変化をもたらす可能性がある」と指摘。文氏は韓国で配備が始まった米軍の最新鋭迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD）」について配備済みの2基からの増強を米国側と協議するよう指示し、韓国軍は在韓米軍に保管中の4基を追加配備することを発表した。

対北圧力で米国と一層協力していく構えの文政権だが、一方では今回の北朝鮮のミサイル発射の発表やNSCの招集が日本政府に後れをとったことで、対応の甘さが指摘されている。

・中国

経済で韓国を「釣る」

文在寅（ムン・ジェイン）大統領は選挙期間中からTHAAD（終末高高度防衛ミサイル）の韓国配備に関して慎重論を展開してきたが、大統領に当選すると、早速中国の習近平国家主席と電話会談。「中韓の関係改善を図りたい」と語る文大統領に対して、習主席は「それなら実際の行動で示すように」と語ったという。中国メディアが伝えた。

おそろべきチャイナマネー

頭を下げてきた韓国に対して、中国は早速これまでの経済制裁を緩和し、チャイナ・マネーという釣り糸で韓国を手繰り寄せ始めた。

韓国メディア「アジア経済」の報道によれば、韓国の免税店、化粧品売り場、観光業など、THAAD問題で冷え切っていたが、李特使の中国への朝貢外交以降、突然改善され始めたという。

・ロシア

流血の8月へ向け、ロシア軍がウクライナ国境に集結

2014年3月にロシアがウクライナのクリミア半島を併合して以降、両国の関係は



北朝鮮は8月28日にも北海道上空を通過するミサイルを打ち、電車が止まる、避難勧告など私たちの私生活にも少しづつ影響が出てきていることも確かである。

著しく悪化した。これまでロシアは国境地帯の親ロシア派武装勢力を支援してきたが、ウクライナに対して宣戦布告はせず、戦闘への関与を否定し続けている。

ロシア軍はかねてから、戦闘が発生しそうになると親ロシア派武装勢力の支配地域付近やウクライナとの国境付近に兵力を結集させてきた。停戦監視団の記録でも、停戦違反が最も多いのが8月だ。

ウクライナ東部の親ロシア派武装勢力、新国家の樹立を宣言

[モスクワ/キエフ 18日 ロイター] - ウクライナ東部の親ロシア派武装勢力の指導者が18日、ウクライナに代わる新しい国家の樹立を一方的に宣言した。

親ロシア派の指導者ザハルチェンコ氏は、首都をドネツクに置く新国家を樹立し、国名は帝政ロシア時代のウクライナの呼称だった「マロロシア（小ロシア）」とするとの声明を発表した。

これに対してウクライナのポロシェンコ大統領は、ロシアが裏で操っている「人形劇」だとし、ロシアの関与を指摘した。

一方、ロシア大統領府のペスコフ報道官は、ザハルチェンコ氏の宣言は同氏自身が主導したもので、ロシア政府はメディアの報道でこのことを知ったと述べ、ロシア政府の関与を否定した。

ウクライナ東部では2014年に、政府軍と親ロシア派の間で停戦合意が結ばれたが、その後もたびたび戦闘が起きている。

・中東

イラク首相「ISISの終焉」と宣言 北部拠点の象徴的モスク制圧

イラク北部モスルの旧市街で過激派組織「イスラム国」（IS）掃討作戦を進める政府軍は29日、歴史的礼拝所ヌーリ・モスク周辺を制圧した。これを受け、アバディ首相は「偽りの国家の終わり」を迎えたと宣言した。

ISが3年前に「国家樹立」を宣言したモスクの奪還は、象徴的な勝利と言える。旧市街にはIS兵士がなお潜伏しているが、イラク当局はモスルでの戦闘が数日以内に終了するとみている。

モスル陥落によりイラク国内のIS支配地域は半減することになるが、同市の西部と南部はなおISの勢力下であり、多数の住民が残っている。

一方、シリア国内のIS拠点であるラッカも陥落が近づいており、米軍の支援を受けたクルド系組織を中心とする連合軍が29日、同市を包囲した。シリア人権監視団が明らかにした。

討論、新国立競技場過労死について

新国立競技場の工事で時間外労働212時間で作業員自殺、過酷な現場の実態

東京オリンピック・パラリンピックのメインスタジアムとなる新国立競技場の建設現場で働いていた新入社員が自殺、弁護士が動き出しました。

新国立建設現場で働く新入社員が自殺

国立競技場を壊し新国立競技場を施工中



“「そこ（自殺）まで本当に追い詰められてしまったんだろうなあと」（新国立競技場の建設現場で働いていた作業員）”

“新国立競技場の建設現場で働いていた作業員の男性です。同じ現場では、都内の建設会社の23歳の男性社員が今年3月、失踪した後、自殺しました。この男性社員が失踪する直前の月の残業時間は、200時間を超えていました”

“代理人らが工事現場のセキュリティー記録などを調べたところ、失踪する前の1カ月間は211時間56分の残業が認められた。深夜労働が常態化し、徹夜勤務もあったという。

新国立競技場は総工費膨張で旧計画が白紙撤回されたため、2016年12月に当初予定より1年余り遅れて着工、急ピッチで工事が進んでいる。川人弁護士は「作業日程が極めて厳しかった。国家的行事だからといって労働者の命が犠牲になってはならない」と強調した。”

出典

[「新国立競技場」建設で新入社員が過労自殺か 残業200時間超、遺族が労災申請](#)

各自のコメント

・それぞれの立場で話した内容は自信が昔経験した労働環境や現状の事を含め討論をしました。働き方の見直しが迫られる今の時代、個々の意見から今後の私たちの働き方がどのように変わっていかねばならないかのキーワードのようなものが見えてくるかもしれません。

睡眠しない分だけ、脳は壊れていく。緊張感のある現場、精神的にも、身体的にも負担が大きかった。自殺と言う判断にしか行き着かない程、追い込まれていた。誰も見ていないけれど、自分を律してしまう責任のある立場について、上の人からのプレッシャーもあった。人で不足は尽きない。計画性や、人員の配置など曖昧になってしまった。

死ぬということに向き合う前に、そこから逃げるという考えが必要だ。しかし人間追い詰められると逃げるという判断もできなくなってしまう。周りのサポートなども必要。

責任があるという立場は重く大変だ。最近では派遣などの仕事で自分の時間に余裕を持ちながら働く人も増えてきているみたいだ。

トヨタ系の仕事をしていた時、表向きはしっかりしているように見えて、実は、連勤や、12時間働いていたこともある。疲れすぎて、変な気になってくることもあった。

居酒屋のアルバイトをしていた時、朝までアルバイトをして、それから、学校に行っていたが、睡眠をとっていないと、頭に内容が入ってこなかった。

課題が多い分、仕事時間以外で縛られていると感じる時間が多い。プライベートと一緒になくなってしまっている。育児と仕事、自分が自分を史観しなければならなかったと感じた。家庭を持ちながらの仕事、ライフスタジオと一緒にあって、家庭を持っているスタッフに向き合ってくれていると感じる。

仕事、子供と過ごす時間、奥さんとの時間、ごちゃごちゃになってしまう事もあるが、新たな課題ができた。仕事の環境が、繋がることもある。

「人生と労働の一致」出来たらいい。

やらせている感がある限り、捉え方が変わる。

人生に必要なだと感じるから、読み書き討論も結果やっている。

ライフスタジオを出た後も、社会に貢献してほしい。その為に行っていることもある。

子育てをしているスタッフが多いからこそ、その事についてライフスクールで話す時間を作りたい。